

# 特集・地域で取り組む

## 交通安全

四月は新入学の季節。新一年生が通学などで慣れない道を元気に歩く姿はほほ笑ましいものです。しかしこの時期は、交通事故の危険も多くなります。今月の特集は、区内で行われている交通安全活動や、交通事故に遭わないためのポイントを紹介します。

### ○通学の安心・安全見守ります 交通安全指導員

朝の通学時間帯に、横断歩道などで児童らを誘導している姿を見ることがあります。その人たちは、地域のためにボランティア活動をしている交通安全指導員です。西区内では現在七十三人が活動しています。

### ●児童を見守り三十年

「おはようございます。車に気を付けてね」「お兄ちゃんと一緒じゃないの」と毎朝、道行く児童らとあいさつを交わす人がいます。その人は、西区交通安全指導員会の会長（平成十八年度）じょうのの 條野美津



▲條野美津子さん

子さんです。八軒小学校の指導員になって今年で三十年になります。條野さんがこの活動に入ったきっかけは、町内会の役員をしていたときに、指導員になることを頼まれてから。「何か役に立つことが出来れば」と引き受けましたが、こんなに長く続くとは思っていません。

條野さんの日課は、午前八時前から、校門前の道路にスクールゾーンを示す柵を置いて、八時半こ

ろまで車両が進入しないよう、また、児童らが車の危険から安心して通学できるよう、気を配りながら誘導することです。



▲子どもたちを誘導する條野さん

雨の日も雪の日も、授業などがある日は道路に立って、児童一人一人の顔を見てあいさつをします。「子どもたちとは顔なじみ。毎朝元気な子どもたちと言葉を交わすことで、私も元気になります。どんな天気の日でも、子どもたちに会うのが楽しみです。つらいと思っただことは一度もありません」と楽しそうに話します。

### ●困ります自転車危険走行

條野さんが最近気になっているのは、自転車の交通マナーのことです。

ある日の夕方、バスを降りて歩



▲交通安全を願って街頭啓発をする地域の人たち